正しくマスクを装着しましょう

使い捨て式防じんマスク※1

取替え式防じんマスク ※2

電動ファン付き呼吸用保護具

※1国家検定合格品又は米国NIOSH規格（N95,N99又はN100)適合品を使用してください。
※2国家検定合格品を使用してください。

マスクの装着 「悪い例」

鼻部に大きなすき間

しめひもが片側外れている

マスクが上下さかさま

吸収缶やフィルターが付いていない

しっかりと顔に密着させましょう

マスクの変形・破損がないことを確認した上で取扱説明書に従って装着を行う。

- しめひも調節が行えるものは、必ず適切な長さに調節する

顔に密着しているか確認しましょう

- 取扱説明書に従って使用のたびに必ず顔に密着しているか確認しましょう
- もし、漏れ込みが感じられた場合は…
  1. マスクの位置を調節する
  2. しめひもの長さを調節する
  3. 排気弁など各部の接続状態を確認する

(社)日本保安用品協会・日本呼吸用保護具工業会編

必ずフィットチェックをしましょう。

次の(A)、(B)の２つの方法があります

(A) **手を用いた方法**
吸気口を手でふさぐときは、押しつけて面体が押されないように、反対の手で面体を押さえながら息を吸い、苦しくなれば空気の漏込みがないことを示す

(B) **フィットチェッカーを用いた方法**
吸気口にフィットチェッカーを取り付けて息を吸うとき、瞬間的に吸うのではなく、2～3秒の時間をかけてゆっくりと息を吸い、苦しくなれば空気の漏込みがないことを示す

出典『鉛作業主任者テキスト』(中央労働災害防止協会編)

がれきの処理における留意事項

～ がれき処理作業を行う皆様へ ～

がれきの処理は、釘等を踏み抜いたり、倒れてきたり落下してきた物に当たるなど、多くの危険を伴います。

本リーフレットは、**がれき**の撤去等作業にあたって安全に作業を進めることができるよう、**がれき**の処理における留意事項をまとめたものです。

作業の実施にあたっては、作業責任者の指示によく従って行動するとともに、本リーフレットを参考に安全に十分注意して作業を行ってください。

1 災害に遭わないための服装

- ●長袖の作業着など肌の見えない服装で作業しましょう。
- ●ヘルメットや安全靴など底の厚い靴、丈夫な手袋を着用しましょう。
- ●防じんマスクやゴーグルを着用しましょう。
- ●防じんマスクの使用に当たっては、使用前に漏れがないか確認するためのフィットチェック（４頁目参照）を必ず行いましょう。

ヘルメット

底の厚い靴

踏み抜き防止中敷き

丈夫な手袋

2 安全な作業のための準備

- ●作業を開始する前に、作業責任者が誰か確認し、その方の指示を受けて作業を行いましょう。
- ●周りで作業を行っている人に危険が及ぶことのないよう、連絡を取り合い、十分注意して作業を実施しましょう。
- ●**がれき**を運搬するための経路を確保しましょう。

3　作業中に注意すべき事項

がれきの処理の際

●安定の悪い**がれき**の上など高い所で作業しないようにしましょう。
●倒れそうな建物には近づかないようにしましょう。
●重いものを無理に一人で運ぶのはやめましょう。
●倒れた柱などの長尺のがれきを運ぶときは、周りに人がいないか十分注意しましょう。
●薬品（液体）の容器や、液漏れした機械を見つけた場合には作業責任者に連絡しましょう。
●石綿が含まれているおそれのある建材については、散水等によりできるだけ湿潤化するとともに、原則、割らずに片付けましょう。
●作業中の重機（ブルトーザー、パワーショベル等）に近づかないようにしましょう。

荷積みの際

●トラックなどへ**がれき**を積む際は「積み過ぎ」に注意しましょう。
●トラックの荷台の上の**がれき**には乗らないようにしましょう。

その他の留意事項

●暑い時は、水分、塩分、休憩をこまめにとりましょう。
※体調が悪くなった場合は、作業を直ちに中止し、すぐに作業責任者にその旨を伝えましょう。

●粉じんが舞うような場所で飲食や喫煙をしないようにしましょう。
●汚水、雨水、海水、河川の流水、腐敗しやすい物が溜まっている箇所などは酸素濃度が低かったり、硫化水素濃度が高い可能性があります。立ち入らないようにしましょう。
●破傷風の危険があるので、傷を負った場合は、すぐに消毒・治療をしましょう。
●火災等により**がれき**が燃焼している場合には、風上に立ち、燃焼中の**がれき**に近づかないようにしましょう。燃焼後のがれきを片付ける際は、防じんマスクを着用しましょう。

4　機械を使用する場合に注意すべき事項

●クレーン、ブルドーザー、パワーショベルなどの運転には資格が必要です。無資格の方が運転して作業を行ってはいけません。
●ショベルカーなどのバケットの爪に荷を掛けてつり上げること（用途外使用）は原則禁止されています。
作業内容に適切な機械を使用するようにしましょう。

5　災害事例

●がれきを素手で扱って、手を切った。

●がれきから出ていた釘を踏み抜いた。

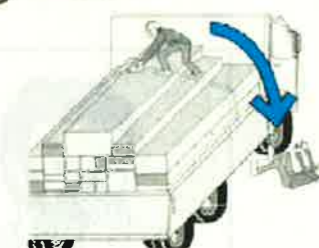
●崩れてきたがれきの下敷きになった。

●錆びた釘で傷を負い、破傷風にかかった。

●重量物を一人で運び、腰を痛めた。

●トラックの荷台に積んだがれきをロープで固定中、バランスを崩して墜落した。

●作業中に、後退してきたトラックに衝突された。

●作業中、パワーショベルのアームに激突された。

萩労働基準監督署
〒758-0074　萩市大字平安古町599-3
TEL0838-22-0750

大雨による災害の復旧工事を安全に進めましょう！

平成25年7月の大雨により各地に多大な被害がもたらされました。
今後、この被害に関連して急を要する災害復旧工事が開始され、工事量が増大することに伴い、労働災害の発生が懸念され、特に土砂崩壊及び土石流による災害の発生が危惧されます。
大雨等の災害復旧工事等における土砂崩壊及び土石流による災害を防止するため、このリーフレットに示した事項に十分留意して、安全に工事を進めましょう。

土砂崩壊災害防止のポイント

調　査
地山の形状、地質及び地層の状況、亀裂、含水及び湧水の状況等をあらかじめ調査しましょう。

計　画
作業計画に基づき、作業を行いましょう。

監　視
必要に応じ、地山の状況を監視しましょう。

土砂崩壊防止
土砂崩壊のおそれがある場合には、土止め支保工を設けましょう。

避難の周知
避難の方法について、労働者に周知しましょう。

土石流災害防止のポイント

調　査
上流の河川の形状、周辺の崩壊地の状況をあらかじめ調査しましょう。

警　戒
危険が予想される場合は、上流の状況を監視しましょう。

避難の周知
警報及び避難の方法について、労働者に周知しましょう。

避難訓練
緊急連絡体制を確立し、避難訓練を実施しましょう。

萩労働基準監督署
〒758-0074　萩市大字平安古町599-3
電話　0838-22-0750

土砂崩壊災害防止措置

(1) 工事の施工に当たって、作業箇所及び周辺の地山について形状、地質及び地層の状況、亀裂、含水及び湧水の状況等についてあらかじめ十分に調査を行うこと。また、今回の大雨の降雨前から着工している工事にあっても、必要に応じ、改めて同様の調査を行うこと。

(2) 上記(1)の調査結果を踏まえ、作業計画を定め又は作業計画を変更し、これに基づき作業を行うこと。

(3) 点検者を指名して、作業箇所及びその周辺の地山について通常の場合よりも頻度を高めて点検を行うことにより地山の異常をできるだけ早期に発見するよう努めること。
また、必要に応じ、地山の状況を監視する者を配置すること。

(4) 土砂崩壊のおそれがある場合には、あらかじめ堅固な構造の土止め支保工を設ける等土砂崩壊による災害を防止するための措置を講じること。また、土止め支保工を設ける等の作業中における災害の防止にも留意すること。

(5) 急迫した危険が生じた場合における緊急連絡体制を確立するとともに、避難の方法等について労働者に十分周知すること。

土石流災害防止措置

(1) 土石流危険河川における工事の施工に当たっては、作業場所から上流の河川の形状、その周辺における崩壊地の状況等についてあらかじめ十分に調査すること。また、今回の大雨の降雨前から着工している工事にあっても、必要に応じ、改めて同様の調査を行うこと。

(2) 土石流の早期把握等の措置を講ずるための警戒降雨量基準、作業を中止して労働者を退避させるための作業中止降雨量基準等を、必要に応じ見直すこと。また、降雨量が警戒降雨量基準に達していなくても、危険が予想される場合には、作業場所から上流の状況を監視する等の措置を講じること。

(3) 警報用設備及び避難用設備の点検を実施するとともに、警報及び避難の方法等について労働者に十分周知すること。

(4) 急迫した危険が生じた場合における緊急連絡体制を確立するとともに、避難訓練を臨時に実施し、労働者の安全に対する意識を高揚すること。また、これらの際には必要に応じ、近接して作業を行う異なる元方事業者と連携すること。